

## 平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立菟田野小学校

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

学校運営に保護者・地域の力を借り、協働して「地域と共にある学校づくり」を推進する。

## 2 特徴的な取組の概要

## (1) 「ボランティア絆の会」による学習支援

地域の高齢者による「ボランティア絆の会」。今年度は、2回学校に来ていただき、6年生の家庭科で、ミシンを使ったエプロン作りに協力していただいた。児童にとっては、昨年（5年生時）の手縫いの第一歩の学習に続いて、今年も家庭科の布を用いた製作の学習でのボランティア支援であり、接しやすかったようである。



6年家庭科の学習を支援(絆の会)



保育所で紙芝居を披露(ふれあい学習)

## (2) 「ふれあい学習」を通じた放課後人権学習

今年の参加児童は、31人であり、低学年と高学年に分けて、月曜日の放課後に年間6回活動した。

低学年では、「国際理解」をテーマとして、韓国や朝鮮などの国々の文化に触れる活動をした。韓国・朝鮮の暮らしや文化について、もうひとつの放課後学習である「チャング・ハジャ」の教育推進員を招いて教えてもらったり、チヂミを実際に作って食べたり、朝鮮・韓国や中国の言葉を学んだりした。

高学年では、「交流学习」をメインテーマとして、校区内の保育所を訪問し、園児たちと交流した。交流のために、紙芝居を全員で作成するとともに、交流のために読み聞かせやゲームなどの練習も行い、保育所では全児童が精いっぱい活動し、好評を得た。

これらの活動は、子どもたちの多文化共生に関する意識や、豊かな人権感覚・感性を育む機会となった。